

## 第1回 MSPA科 コンピュータ基礎および演習 (初級) 月曜日3～4時限

平成12年4月17日

### 1. 座席について

座席は、指定席になっています。コンピュータ教室入り口の座席表にしたがって、着席してください。

パソコンが故障している場合は、コンピュータ実習室へ問い合わせして下さい。

### 2. 本日の授業内容

#### (1) 担当者の紹介

講師 土肥 紳一(基礎教育系列 コンピュータ実習室)

講師 竜田 藤男(基礎教育系列 コンピュータ実習室)

助手 若井 英夫(基礎教育系列 コンピュータ実習室)

助手 寶来 俊介(基礎教育系列 コンピュータ実習室)

TA 小林 竜一(建築学科 朝山研究室)

TA 矢作 浩一(建築学科 朝山研究室)

TA 吉田 直子(建築学科 積田研究室)

(2) 著作権について(ビデオ上映)

「ドーン」と警告

喪黒福造  
CM登場

「コンピュータソフトの違法コピーは犯罪です。」  
は犯罪です。喪黒福造氏のアニメ「突っせ、さすまん」のキャラクター「喪黒福造」を使ったコンピュータソフトの違法コピー機器「コマージュ」写真(©藤子・シンエイ・中央公論新社)が、一日から三朝日などで二週間にわたって放送されている。コンピュータソフトの権利保護を啓蒙する。

団体、ビジネス、ソフトウェア、アライアンス(BSA)、本部・米国ワシントン(DC)とコンピュータソフトウェア著作権協会(ACTA)本部・東京港区)が提供しているもの。

違法ソフトを学生風、会社員の男女が買ひ替りしている場面。喪黒福造が登場して「違法コピーは犯罪です」と強調して、具体的な例をあげるもの。二十代前半から三十代後半の学生、社会人を主な対象にしており、平日夜間と土曜、日曜日を中心に放送している。

読売新聞 2000年4月5日(水曜日)より抜粋

小休止

- (3) パスワードの配布およびその扱いについて
- (4) 教育システムについて
- (5) 「コンピュータ基礎および演習」に関する相談
- (6) 基本操作

小休止

- (7) キーボードの基本操作
- (8) アンケート調査

### 3. 授業に関する情報

授業に関する情報は、教育システムのホームページ上で公開します。

[スタート][プログラム][Netscape Communicator]の順にクリックし、[その他のサーバ][MSPA初級 (月曜日3~4限)授業ページ]の順にクリックすると表示できます。

(補足)

2000年(平成12年)3月30日(木曜日)

# パソコン通は出世する!?

## 情報機器 詳しいほど高地位・高収入

日本にも「デジタル・ディバイド」

この調査は、首都圏の十五〜五十九歳の男女三百五十人ずつを対象に、九九年十二月に行なった。「パソコンを使って無難なく文章を作成できるか」「定期的に電子メールの手続きをしているか」「自分のホームページを作成したことがあるか」といった質問への回答を数値化した。情報機器への精通度合いを四段階に分類して、企業での年収を調べた。

その結果、精通度が最も高い階層は、一多が職種に就いているが、最も低い階層は、一多が職種に就いている。

また、調査対象者のうち正社員(年収三百万円以上)として働いている階層の年収を調べたところ、精通度が最も高い階層の人たちの平均年収は七百二十九万円、一千万円以上の年収を得ている人の割合は、一多に達した。

一方、精通度が最も低い階層では平均年収が六百十万円、一千万円以上の年収を得ている人の割合は、一多に達した。

「デジタル・ディバイド」は、収入が最も低い階層で最も顕著な傾向が見られる。収入が最も低い階層では、収入が最も低い階層で最も顕著な傾向が見られる。

本報が調査した「デジタル・ディバイド」の調査結果は、収入が最も低い階層で最も顕著な傾向が見られる。

また、新聞代、テレビ受信料、携帯電話やインターネットの利用代金など、情報関連のサービスや商品の平均的な支出額を調べると、二年前の調査(九七年十月)に比べて九千三百八十八円多い二万六千五百八十八円だった。

また、携帯電話とインターネット関連の支出の伸びが注目されている。

パソコン教室も就職を目指す学生で満杯(大阪市内で)

電通が調査

読売新聞 2000年3月30日(木曜日)より抜粋

# コンピュータ基礎および演習1(初級)

( Introduction to Computer and Programming I )

第一部 MSPA科 1年前期 必修4単位 月3・4

[担当者名] 講師 土肥 紳一 ほか

## [目的概要]

インターネットとコンピュータの著しい進歩にともない、情報化社会の波が一気に押し寄せてきました。音楽もインターネットを使って配信される時代になり、学問の分野を問わずインターネットを含むコンピュータの活用能力が、必要とされています。この授業は、コンピュータリテラシー、すなわちコンピュータを活用する能力を学習します。授業は原則として、2コマ連続してコンピュータ教室で実習を行います。コンピュータに関する予備知識は必要ありませんが、コンピュータの操作方法に早く習熟するためには、授業時間後の復習は必要です。

[教科書名] コンピュータ実習入門(オンラインマニュアル)

## [評価方法]

出席、レポート、中間・期末試験、コンテストの結果を総合して評価します。

## [テーマ・内容]

### [第1回] 基本操作1

パスワードの配布、管理方法、ソフトウェアの著作権(ビデオ)、パソコンの基本操作、利用に関するマナーについて学びます。

### [第2回] タッチタイプ

キーボード練習ソフト(タイプクイック)を使った、英字、日本語の入力を練習します。

### [第3回] インターネット入門1

電子メールの操作方法、マナーについて学びます。

### [第4回] インターネット入門2

ネットサーフィン、ネットニュースを体験し、インターネットから情報を収集する手段について学びます。

[第5回] ワープロ

ワードを使って、ワープロの基本機能を学びます。

[第6回] 表計算

エクセルを使って、表計算の基本機能を学びます。さらに、ワープロとの連携機能を学びます。

[第7回] 中間試験

[第8回] 数式処理

Mathematicaは、数学を解くための強力なツールです。基本機能と操作について学ます。

[第9回] マルチメディア

音声や画像などをコンピュータに入力することによって、編集や加工が行えることを学びます。

[第10回] ホームページの作成1

ホームページを作成するための基本操作、WWWサーバへの登録方法、モラルについて学びます。

[第11回] ホームページの作成2

ホームページコンテストに向け、作品を完成します。

[第12回] ホームページコンテスト

1人1分程度の時間の中で、各自が作成したホームページの発表を行います。評価は、学生による相互採点を原則としています。

[第13回] 期末試験

[e-mail address] dohi@chiba.dendai.ac.jp

[オフィスアワー]

授業時間を除き、コンピュータ実習室スタッフ室で随時対応します。

[質問への対応] メールを原則とします。

[学生へのメッセージ]

毎日1回、メールを見る習慣を付けてください。さらに、身近な情報収集手段としてインターネットの活用に心がけてください。